

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権であり、償却原価法(定額法)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
投資有価証券	70,000,000	0	0	70,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
(特定資産)				
リサイクルヤード完了工事準備資金	0	40,000,000	0	40,000,000
小計	0	40,000,000	0	40,000,000
合計	100,000,000	40,000,000	0	140,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
定期預金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
投資有価証券	70,000,000	(0)	(70,000,000)	(0)
小計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
(特定資産)				
リサイクルヤード完了工事準備資金	40,000,000	(0)	(40,000,000)	(0)
小計	40,000,000	(0)	(40,000,000)	(0)
合計	140,000,000	(0)	(140,000,000)	(0)

4 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
構築物	229,948,900	124,612,794	105,336,106
器具備品	20,798,563	9,901,634	10,896,929
合計	250,747,463	134,514,428	116,233,035

5 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
大阪市債	70,000,000	70,714,000	714,000
合計	70,000,000	70,714,000	714,000